

震災追悼行事

1月16日(金)、朝の SHR 開始後、震災追悼の放送と黙祷を行いました。

今から 31 年前、1995 年(平成 7 年)1 月 17 日 午前 5 時 46 分、兵庫県を中心にマグニチュード 7.3、震度 7 の巨大地震が発生しました。

あの日、突然の激しい揺れとともに街は一瞬にして姿を変えました。建物の倒壊、火災、交通網の寸断…。家族を失い、住まいを失った人々の苦しみと悲しみは、今も私たちの心に深く刻まれています。復興への道のりは決して平坦ではありませんでしたが、互いに支え合い、希望を失わず歩み続けた人々の姿は、私たちに強い勇気を与えています。

兵庫に暮らす私たちは、この悲しみを乗り越え、互いに励まし合いながら生活を立て直し、町の復興に力を尽くしてきました。その歩みの中で、震災の教訓を次の世代へ伝え、災害に備える取り組みを続けています。

この阪神・淡路大震災でお亡くなりになられた 6,434 人の尊い命を悼み、改めて深い哀悼の意を表します。

黙祷の様子(各教室にて)

